

補助事業番号 24-1-40
補助事業名 平成24年度国際交流の推進活動補助事業
補助事業者名 一般社団法人 日本機械工業連合会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

① グローバル人材育成・教育に関する国際交流

理数系技術者・研究者のレベルアップを図るため、国内ではその大きな要因である高校における理科（とりわけ深刻な状況にあるとみられる物理）の履修率の向上、大学理工系学部での物理の履修率の向上を図る仕組み作りの考案を行う。また、海外では教育先進国の高校・大学の理科教育の現場を視察し、担当教師との意見交換・懇談を行うと共に、海外の産業団体・教育機関（VDMA、GSEE等）とも連携・調査し、教育者を招聘し相互の理科教育の課題・問題点などにつきシンポジウムを行う。

② 国際連携による模倣品対策

本年度は日本の模倣品被害額を算定するため、各国、各機関でばらばらな被害額算定方法の中からドイツの算定方法を利用し被害額を算出する。国際比較（日独）することにより日本の産業界に模倣品対策の継続的活動の重要性を再度啓蒙する。また、ものづくりの原点でありながら模倣品対策が困難で対策が不十分な機械産業に対しては、本年度の調査結果を公表し活動の活性化を図る。更に国際連携の輪を広げ世界の知恵を結集していく仕組みを検討する。

(2) 実施内容

http://www.jmf.or.jp/japanese/outline/pdf/keikaku/24_keikaku.pdf

① グローバル人材育成・教育に関する国際交流

昨年度の調査結果から、新卒技術系社員や現役理工学部の学生の基礎学力や基礎能力の不足、社会に対する意識レベルの低下が共通認識され、原因の一つとしてゆとり教育の影響も指摘された。今年度はこれらを踏まえ、技術系人材の基礎学力や論理的思考能力向上のため、物理を中心とした理科教育の向上を目指し、以下の3点を重点的に実施した。1) 大学入試における理科系科目の選択・必修性のあり方、2) 理工系学部・大学の教養課程を含めた理科系科目の選択・必修性のあり方、3) 大学理工系学部の理科系科目のカリキュラムについて、を調査検討した。また、これに関連するシンポジウム、海外調査を実施した。

②国際連携による模倣品対策

平成 24 年度はVDMAと同様に模倣品被害と対策の実施状況に関するアンケートを実施すると共に、有識者を招いたシンポジウムにおいて、同アンケート結果を発表するなど、我が国が取り組むべき模倣品対策について検討した。

2 予想される事業実施効果

①グローバル人材育成・教育に関する国際交流

本事業により、若手技術者、理工系学生の基礎学力の低下が明らかになるとともに、活動成果の一環として取り組みが始まったばかりの、企業若手技術者の学力試験のデータの蓄積により、客観的な資料による問題の認識が進み、より具体的な現行の教育システム、教育行政の欠陥が是正されることにより、全般的に我が国学生の理工系学力の向上が期待され、ひいては産業の国際競争力の向上にも多大の寄与が期待される。

②国際連携による模倣品対策

本事業により、模倣品対策の実情と課題が明らかになったため、今後、国際連携による模倣品対策の一層の強化が期待される。

3 本事業により作成した印刷物等

http://www.jmf.or.jp/japanese/houkokusho/list/list_24.html

平成24年度「国際交流の推進活動」

理工系基礎学力の強化とモノづくり人材育成の課題に関する調査研究報告書（Ⅱ）

200部

平成24年度「国際交流の推進活動」

模倣品対策調査研究報告書 200部

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 日本機械工業連合会

(イッパンシャダンハウジン ニホンキカイコウギョウレンゴウカイ)

住所： 〒244-0001

東京都港区芝公園3-5-8

代表者： 会長 岡村 正 (オカムラタダシ)

担当部署： 業務部 (ギョウムブ)

担当者名： 担当部長 倉田正明 (クラタマサアキ)

電話番号： 03-3434-5383

F A X : 03-3434-6698

E - m a i l : kurata@jmf.or.jp

U R L : <http://www.jmf.or.jp/japanese/index.html>